

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【公表番号】特表 2005-530716 (P2005-530716A)

【公表日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2005-040

【出願番号】特願 2003-579755 (P2003-579755)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 6 日 (2005.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物での癌の治療又は予防のための医薬の製造における、IL - 21 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメントの使用。

【請求項 2】

哺乳動物での癌の治療又は予防のための医薬の製造における、IL - 21 ポリヌクレオチド又はそのフラグメントの使用。

【請求項 3】

哺乳動物での癌の治療又は予防のための医薬の製造における、IL - 21 ポリヌクレオチド又はそのフラグメントを含む発現ベクターの使用。

【請求項 4】

発現ベクターは p O R F である、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

癌は黒色腫、肉腫、又は結腸癌である、請求項 1 - 4 のいずれかに記載の使用。

【請求項 6】

IL - 21 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメントを、ワクチン、抗原特異的 T リンパ球、サイトカイン、又はそれらの組合せと共に使用する、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

IL - 21 ポリヌクレオチド又はそのフラグメントを、ワクチン、抗原特異的 T リンパ球、サイトカイン、又はそれらの組合せと共に使用する、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 8】

発現ベクターを、ワクチン、抗原特異的 T リンパ球、サイトカイン、又はそれらの組合せと共に使用する、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 9】

ワクチンは、組換えウイルスワクチン又はペプチドワクチンである、請求項 6 - 8 のいずれかに記載の使用。

【請求項 10】

サイトカインは、IL - 2、IL - 7、又は IL - 15 である、請求項 6 - 8 のいずれかに記載の使用。

【請求項 11】

抗原特異的 T リンパ球は、腫瘍特異的 T リンパ球である、請求項 6 - 8 のいずれかに記載の使用。

【請求項 12】

哺乳動物での免疫関連疾患の治療のための医薬の製造における、IL - 21 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメントの使用。

【請求項 13】

哺乳動物での免疫関連疾患の治療のための医薬の製造における、IL - 21 ポリヌクレオチド又はそのフラグメントの使用。

【請求項 14】

哺乳動物での免疫関連疾患の治療のための医薬の製造における、IL - 21 ポリヌクレオチド又はそのフラグメントを含む発現ベクターの使用。

【請求項 15】

発現ベクターは p O R F である、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 16】

IL - 21 ポリペプチド、その変異体、又はそれらのいずれかのフラグメント、及び医薬として許容できる担体、希釈剤、又は賦形剤を含有する医薬組成物。

【請求項 17】

IL - 21 核酸分子、又はそのフラグメント、及び医薬として許容できる担体、希釈剤、又は賦形剤を含有する医薬組成物。

【請求項 18】

IL - 21 核酸分子は、発現ベクター中に構築されている、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

発現ベクターは p O R F である、請求項 18 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

ワクチン、抗原特異的 T リンパ球、サイトカイン、又はそれらの組合せを更に含有する、請求項 16 又は 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

ワクチンは、組換えウイルスワクチン又はペプチドワクチンである、請求項 20 に記載の医薬組成物。

【請求項 22】

サイトカインは、IL - 2、IL - 7、又は IL - 15 である、請求項 20 に記載の医薬組成物。

【請求項 23】

抗原特異的 T リンパ球は、腫瘍特異的 T リンパ球である、請求項 20 に記載の医薬組成物。

【請求項 24】

ナチュラルキラー (NK) 細胞のアポトーシスを誘導するためのインビトロ方法であって、ナチュラルキラー (NK) 細胞のアポトーシスの誘導に有効な量の IL - 21 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメント、あるいは IL - 21 ポリヌクレオチド、又はそのフラグメントに NK 細胞を接触させることを含む、方法。

【請求項 25】

NK 細胞の細胞溶解活性を活性化するためのインビトロ方法であって、NK 細胞の細胞

溶解活性の活性化に有効な量の I L - 2 1 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメント、あるいは I L - 2 1 ポリヌクレオチド、又はそのフラグメントに N K 細胞を接触させることを含む、方法。

【請求項 2 6】

N K 細胞のアポトーシスを誘導するための医薬の製造のための、I L - 2 1 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメント、あるいは I L - 2 1 ポリヌクレオチド、又はそのフラグメントの使用。

【請求項 2 7】

N K 細胞の細胞溶解活性を活性化するための医薬の製造のための、I L - 2 1 ポリペプチド、変異体、又はそれらのいずれかのフラグメント、あるいは I L - 2 1 ポリヌクレオチド、又はそのフラグメントの使用。